

第1号議案**平成23年度事業報告について****1 ツーリズム創造・発展事業****(1) ツーリズム企画推進事業**

①各種委員会を中心に、会員相互の連携により事業企画・推進を図るもの。

委員会名	開催年月日	場所	内容
事業企画委員会	H24. 3. 15	ツーリズム おおいた	平成23年度事業実績について 平成24年度事業計画について
広域観光委員会	H24. 2. 29	大分県庁	JR九州キャンペーンについて 県内観光圏の現状について
情報発信委員会	H23. 6. 27	ツーリズム おおいた	「ぐるり」秋号について 大分県観光情報HP秋特集について
	H23. 9. 7	ツーリズム おおいた	「ぐるり」冬号について 大分県観光情報HP冬特集について
	H23. 12. 1	ツーリズム おおいた	「ぐるり」春号について 大分県観光情報HP春特集について
	H24. 3. 15	ツーリズム おおいた	「ぐるり」24年度制作について 大分県観光情報HP夏特集について
インバウンド 事業委員会	H23. 6. 14	県社会教育 総合センター	平成22年度事業報告について 平成23年度事業計画(案)について
	H23. 10. 7	別府市労働者 福祉センター	上半期事業報告について 下半期事業計画について

②ツーリズムおおいたが事務局として協議会の運営にあたり、事業企画・推進を図るもの。

協議会名	開催年月日	場所	内容
大分県ふるさとガイド 連絡協議会総会	H23. 7. 12	大分文化会館	平成22年度事業報告について 平成23年度事業計画(案)について
大分県教育旅行 誘致協議会総会	H23. 9. 28	県社会教育 総合センター	平成22年度事業報告について 平成23年度事業計画(案)について
大分県教育旅行 誘致協議会 受入・誘致合同部会	H24. 3. 23	県社会教育 総合センター	平成23年度事業経過報告について 平成24年度事業計画(案)について
大分県スポーツ ツーリズム推進 連絡協議会総会	H24. 3. 23	県社会教育 総合センター	平成23年度活動報告について 平成24年度活動計画(案)について 各市町村の取組状況と課題について

(2) 地域ツーリズム振興事業

①大分県観光イメージ戦略構築事業

大分県観光のトータルなイメージが明確でないことから、東京芸術大学の河北秀也教授による大分県観光イメージ戦略構築セミナーを6月10日の通常総会に併せて開催した。さらに、大分県観光イメージ検討委員会を設けて、大分県観光の新たなイメージ戦略の構築を目指すとともに、平成22年度の温泉をテーマにした写真画像素材の作成に引き続き、道をテーマにした写真画像素材を作成した。

②大分県ふるさとガイド育成事業

5月31日にツーリズムおおいたホームページ内にふるさとガイドのホームページを開設した(URL：<http://www.visit-oita.jp/furusatoguide/>)。

また、9月26日に第1回交流研修会を豊後大野市で、11月25日に第2回交流研修会を臼杵市でそれぞれ開催し、ガイドの資質向上に努めるとともに、ガイド同士の交流を図った。

2月9、10日には別府市のビーコンプラザを会場に「第5回九州観光ボランティアガイド大会 in おおいた」が開催され、大分県ふるさとガイド約120名を含む九州各県のボランティアガイド約400名が参加した。情報交換会では県内の道の駅、里の駅が料理を振る舞う「おおいたグルメの夕べ」を開催したところ、参加者から好評を博した。

さらに、2月に「大分まちあるきプログラム」改訂版を発行し、エージェントに対して積極的な活用を呼びかけた。



③広域観光推進事業

【新東九州観光圏】

7月1日に臼杵市で観光圏構成7市による総会を開催。その中で今年度事業として、観光地域づくりプラットフォーム事業を、臼杵市、津久見市、佐伯市と宮崎県延岡市でそれぞれ実施することを事務局から提案し、承認を得た。

臼杵市、津久見市、佐伯市、宮崎県延岡市において、10月から2月にかけて、地域の観光資源を活用し、参加体験型の旅行商品造成を行うための人材育成、組織づくりを検討するワークショップを9回実施した。

3月24日にはその集大成である観光地域づくり研修会を別府市のビーコンプラザで開催し、今年度のプラットフォーム事業の成果を発表するとともに、新東九州観光圏のコンセプトである「泉（せん）と浦（うら）の交流」を確認した。

【豊の国千年ロマン観光圏】

大分県北部地域観光圏協議会に事務局として参画。

“歴史”“温泉”“食”を三本柱として、特に“歴史”面では神代から昭和までの時間旅行をメインテーマに掲げ、歴史マニュアル本の制作を中核とする千年ロマンおせたいガイド育成事業や小倉と別府をワンコイン(500円)で結ぶ時間旅行バス“豊の国千年ロマン号”運行事業を実施した。

また、“温泉”面では温泉周遊システム構築事業として温泉スタンプラリー“別府八湯温泉道ー豊の国千年ロマン編”をスタートさせるとともに、“食”面では食観光推進事業としてグルメスタンプラリー“豊の国千年ロマングルメ巡行”もスタートさせ、6市1町1村にまたがる広域連携体制が整えられるに至った。

(3) 都市圏観光誘客促進事業

①四大都市圏観光誘客促進事業

平成23年度下期観光素材説明会が東京(5/20)・名古屋(5/26)・大阪(5/27)・福岡(6/9)にて九州観光推進機構主催のもと開催された。大分県はツーリズムおおいたが主体となり市町村や市町観光協会などとともに参加。各地のエージェント・マスメディアに対し大分県観光のセールスを行った。

また、平成24年度上期観光素材説明会が東京(10/20)・大阪(10/25)・広島(11/24)・福岡(11/29)にて開催。県内市町村及び観光協会、ツーリズムおおいた会員とともに上期向けの観光素材についてエージェントなどに説明を行った。

②福岡圏域観光誘客促進事業

【おおいた観光ツーリズム商談会 in 福岡】

期 日：平成23年5月24日(火)

開催場所：アークホテル博多ロイヤル

参加者：(大分県側)34団体/62名 (福岡県側)32団体/65名

県外からの観光客の約3割以上を占める福岡都市圏において、さらなる誘客促進を図るため、福岡の旅行エージェントやマスメディアを招待し、下期に向けての地域の魅力や食のPRを行った。

第1部の全体説明会では、大分県内をエリアごとに分けて、そのエリアごとに観光のモデルコースを提案した。また、新規施設情報や旬な情報、食・温泉などの情報を中心に下期のおすすめ情報を発信。第2部の特産品体験会では、大分県の選りすぐったグルメを実際に体験いただき、旅行商品の造成や情報誌への掲載を働きかけた。そして、第3部の情報交換会では参加団体がエージェント・マスメディアに対し、パンフレットや映像を用いて最新の観光素材の積極的な売り込みを行った。



特産品体験会



情報交換会

【おおいた竹ものがたり i n 福岡】

期 日：平成 23 年 9 月 17 日（土）17:00～21:00
18 日（日）11:00～21:00
19 日（月）11:00～18:00

開催場所：福岡市庁舎前広場

来場者数：70,000 人

参加市町村：16 市町村

大分県内の観光・ツーリズム関係者が一体となり、「竹」をテーマに福岡都市圏に対し、プロモーション事業を展開。下期に開催される「おおいた竹あかりの祭典」への効果的な誘客促進を図るとともに、食や物産のPRなどを通じて、魅力ある大分県の観光情報を発信した。

また、福岡のエージェント・マスメディアを対象としたモニターツアーを、「おおいた竹ものがたり i n 福岡」の会場を起点に実施。

◇事前プロモーション

イベント前日、別府市・由布市・宇佐市のキャンペーンレディが福岡のマスメディアを回り、事前プロモーションを展開。NHK「ぐるっと8県九州・沖縄」、KBCラジオ「パオーン」、CROSS FM「Friday special」に出演するとともに、西日本新聞・朝日新聞・毎日新聞にて記事が掲載された。



NHKスタジオ



KBCラジオスタジオ

◇観光と食の広場

大分県の観光物産展として、各市町村より42ブースが出展し、郷土自慢の食と観光をPR。また、昨年に引き続き豊後高田市の協力により、「昭和の町ボンネットバス」の展示及び体験試乗会を実施、好評を博した。



観光と食の広場①



観光と食の広場②



昭和の町ボンネットバス

◇おおいた観光ツーリズムステージ

おおいたの伝統芸能として、細枝神楽（臼杵市）、庄内神楽（由布市）、院内龍神・童龍太鼓（宇佐市）、豊勇会太鼓（豊後大野市）がステージにてパフォーマンスを披露。また、中津市よりからあげ☆ガールズが来場、ステージパフォーマンスを披露するとともに中津からあげのPRを行った。



ステージ①



ステージ②



観覧席

◇竹あかりの祭典

NPO法人うすき竹宵と連携して、17日・18日の2日間にわたり竹灯籠・竹オブジェを設置し、福岡にて「おおいた竹あかりの祭典」を再現。また来場者参加による竹灯籠への点灯式を実施した。



点灯式



竹あかりの祭典①



竹あかりの祭典②

③広島圏域観光誘客促進事業

【おおいた観光ツーリズム商談会 in 広島】

期 日：平成23年5月25日（水）

開催場所：広島グランドインテリジェントホテル

参加者：（大分県側）13団体／14名 （広島県側）15団体／25名

中国地方、主に広島県からの誘客促進を図るために、5月25日に広島市にて、初の試みである商談会を開催した。

第1部の全体説明会では、広島で初めての開催ということもあり、まずは大分県の観光素材や地域の魅力への理解を深めていただくための説明を行った。内容は福岡会場と同様であるものの、竹あかりの祭典をはじめ、大分らしい観光・食・温泉・自然といった観光素材について広島側の参加者にアピールした。

第2部の特産品体験会では、広島会場は午後からの開催ということで、実演、調理は行わず、加工食品の提供のみで体験会を行った。

第3部の情報交換会では大分県内の各市町村、ツーリズムおおいた会員がブースを設け、それぞれがパンフレットなどの資料を用意し、観光素材のPRなど、広島

県エージェントと個別商談会を行った。



全体説明会



情報交換会

④関西圏域観光誘客促進事業

【おおいた竹ものがたり in せんちゅうパル】

期 日：平成 23 年 7 月 23 日（土）10:00～20:00

（竹あかりの祭典は 21:30 まで）

24 日（日）10:00～17:00

開催場所：千里中央駅広場「せんちゅうパル南・北広場」

来場者数：13 万人

参加市町村：16 市町村

九州新幹線対策として関西からの誘客促進を目的とする「関西圏域観光誘客促進事業」のキックオフイベントとして、福岡同様「竹」をテーマにプロモーション事業を展開。「おおいた竹あかりの祭典」を大阪で再現するとともに、観光・物産展では多くの来場者に大分県の観光情報を発信した。

◇事前プロモーション

イベント前日、大分市・別府市・日田市・佐伯市・竹田市・豊後高田市・宇佐市のキャンペーンレディや観光担当者が 3 班に分かれて大阪・神戸のマスメディアやエージェントを回り、イベントの事前PRと観光PRを実施。ラジオ関西（神戸）とラジオ大阪（大阪）の番組にも生出演した。神戸新聞、産経新聞、読売新聞、毎日新聞にて記事が掲載された。



ラジオ関西



エージェント

◇観光・物産展

事前プロモーション実施の効果もあり、多くの方が来場し、大分県単独では初開催となる本イベントにおいて、大分の食や地域の特産品、各市町村の観光情報を発信した。

また、物販ブースで千円以上の購入者には大分県特産品などが当たる抽選券を配布し、売上の向上を図ったが、暑い時期にも関わらず約 300 万円の売上を計上し、その 10%をツーリズムおおいたで集約のうえ、日本赤十字社を通じて東日本大震災の義援金として寄付した。



観光・物産展



大抽選会

◇セレモニー（7月23日開催）

関西初のイベントとなる本年度は、広瀬大分県知事自らトップセールスを行い、会場を盛り上げた。セレモニーには、広瀬知事のほか、大阪商工会議所の佐藤会頭（臼杵市出身）、大分県商工会議所連合会の姫野会長、ツーリズムおおいたからは5名の副会長（幸重副会長、梅野副会長、西嶋副会長、桑野副会長、植弘副会長）が参加し、加えて各市町村の観光キャンペーンレディや着ぐるみも駆けつけ、イベントに花を添えた。セレモニー冒頭では、郷土芸能の津久見扇子踊りの披露も行われた。



広瀬知事あいさつ



テープカット・くす玉開披



郷土芸能披露

◇おおいた観光と食の夕べ（7月23日開催）

セレモニー終了後、会場をホテルグランヴィア大阪に移して「おおいた観光と食の夕べ」を開催。関西の経済界、マスメディア、エージェントなど約 120 名を招待し、大分県からは広瀬知事、8 市長（別府・佐伯・臼杵・津久見・豊後高田・杵築・宇佐・国東）のほか各市町村観光関係者などが参加し、大分県を観光と食の両面からPRした。知事や参加していただいた 8 市長のウィットに富んだお国自慢で会場が盛り上がり、効果的なPRとなった。



広瀬知事あいさつ



歓談の様子

◇竹あかりの祭典（7月23日開催）

NPO 法人うすき竹宵と連携して、せんちゅうパル北広場に竹ぼんぼり 1,000 本を設置し、大阪にて「おおいた竹あかりの祭典」を再現。多くの方が来場した。翌日の竹ぼんぼり無料配布では、午前 10 時の配布開始から 2 時間足らずで、すべて引き取られた。



点灯式



竹あかりの祭典

【クロスメディア戦略】

◇旅行雑誌「じゃらん関西・中国・四国」への掲載

平成 23 年 8 月号(7 月 1 日発売)から 5 ヶ月連続で毎号 2 ページの広告記事を掲載し、これまで露出の少なかった関西地区において、大分県下各地の観光情報を発信した。

◇Web 展開

「じゃらんネット」及び「るるぶ.com」の 2 つの媒体を活用して、大分の観光情報を発信するとともに、同ページ上から実際の宿泊予約サイトへ誘導するシステムを構築し、誘客増を図った。特に「るるぶ.com」では、WEB 上での大分県観光に関するアンケート調査を実施したところ、1,815 名からの回答があり、多くの方に情報発信できたものと思われる。

◇「サザエさん」オープニングの活用

大分県の知名度向上を図るため、国民的人気番組である「サザエさん」のオープニング大分編の制作について、テレビ大分を通じて働きかけを行い、平成 23 年 10 月からの 3 ヶ月間は秋編として由布院観光辻馬車や岡城趾などが、また平成

24年1月からの3ヶ月間は冬編として別府地獄めぐりや高崎山自然動物園などが紹介され、県下の観光地を広く全国に情報発信した。



【モバイルスタンプラリー】

旅行者の県内における周遊を促し、滞在時間を延ばしていただくことを目的として県内で全10コースを設けたスタンプラリーを実施。携帯電話のGPS機能を活用したスタンプラリーで、期間は9月～12月の4ヶ月間。スタンプ数に応じて、温泉旅館宿泊券や県産品が当たる企画として実施した。

従来型の携帯電話のみ対応しており、急速に普及したスマートフォンに対応していなかったことや、高齢者が参加しづらかったことなどから参加者は716名にとどまった。



【旅行商品造成】

関西圏域からの誘客促進を目的として、本年下期の九州への誘客促進に向けて「日本の旬キャンペーン」を展開するJTB西日本とタイアップして10月から12月までの旅行商品造成を行い、店頭販売のほか、「るるぶ.com」からの誘導を行うなど、より露出を増やして誘客促進を図ったが、期間中の実績としては119人泊にとどまった。大分単独パンフレットという商品展開は難しく、期待したほどの成果は得られなかった。

⑤首都圏域観光誘客促進事業

【旅行商品造成担当者の大分県招聘ツアー】

首都圏の旅行商品造成担当者3名(クラブツーリズム、ビッグホリデー、JR東海ツアーズ)を大分に招聘し、県北から県南、豊肥地区にまたがり広く大分県を視察するファムツアーを10月26日～28日にわたって実施した。

【「キレイになる九州旅」体験女子会】

首都圏の女性に人気の月刊誌「オズマガジン」を発行するスターツ出版株式会社と九州観光推進機構のタイアップにより11月14日に開催された「キレイになる九州旅」体験女子会にツーリズムおおいたとして参加した。都内ホテルの会場に集まった九州旅行に興味のある首都圏在住の女性200名を対象に大分県自慢のスイーツやコスメを体験いただいた。

(4) 大規模団体誘致受入促進事業

①教育旅行の誘致及び受入体制整備に関する事業

- ・東日本大震災による方面変更などヒアリングセールス実施
5月31日～6月1日：JTB 教旅大阪・神戸・京都（1名）
6月20日～21日：JTB 法人東京・横浜、日修協本部（1名）
7月4日～5日：姫路・神戸・大阪・京都・奈良（大分県・杵築市・ツーリズムおおいた合同）
- ・「教育旅行マーケティングセミナー」（国東市）参加
県内グリーンツーリズム関係者との勉強会・懇親会・農泊体験（豊後高田市）
- ・九州観光推進機構主催「7県合同修学旅行説明会」参加
8月8日（東京）、8月18日（大阪）、8月19日（岡山）
グリーンツーリズムを中心に大分県における修学旅行のポイント説明
大分県からは県観光・地域振興局（地域振興班）、県東京・大阪事務所、各グリーンツーリズム事務局からも参加
- ・首都圏エージェンツヒアリング実施
8月8日～9日：JTB 法人東京 西東京支店・本社企画仕入部、KNT 教育旅行
- ・（財）日本修学旅行協会主催「教育旅行シンポジウム」参加
- ・観光庁主催「スポーツ観光人材育成研修（中級）」参加
11月17日～18日（米子市：皆生温泉）
- ・「全国グリーンツーリズムネットワーク熊本阿蘇大会」参加
11月21日～22日（熊本県小国町・高森町）
- ・広島市、呉市内中学校、エージェンツへの誘致セールス実施
12月13日～14日 大分県（地域振興班・大阪事務所）、豊後高田市同行
- ・グリーンツーリズム先進地視察参加
12月17日～18日（宮崎県五ヶ瀬町）
- ・九州観光推進機構主催「関西・中国地区学校招聘ツアー」アテンド
12月24日～25日（日田市）
- ・「グリーンツーリズムレベルアップ研修会」参加（大分県主催）
1月25日～26日（大分農業文化公園）
- ・「平成24年近旅連教育旅行部会九州フォーラム」参加
2月21日（福岡市）
- ・日旅連大分支部福岡キャラバン同行セールス
2月23日～24日（北九州市・福岡市）

②MICEの誘致に関する事業

大分県内へのMICE誘致の現状把握とJCCB（日本コングレ・コンベンション）入会など他県のコンベンション推進機関への誘致施策についてのヒアリングを行うとともに、県や関係機関と誘致方策について協議を行った。

また、コンベンションについては、MICE 情報データベースの構築及び県内主催

者へのセールスを行うとともに、12月14、15日に東京で開催された「国際マーケティングエキスポ(IME2011)」に別府市、ビーコンプラザとともに出展した。

2 観光情報収集・発信事業

(1) 観光情報収集事業

XMLシステムなどを活用し、県内各地の観光情報の収集を行った。

(2) 観光情報誌発行事業

おおいたの観光情報誌として「Gururitto～ぐるり～」を年4回各5万部発行した。

夏号／「大分夏遊び」(6月発行)

～おおいたの海・山・創・浴体験を満喫！～

秋号／「大分秋巡り」(8月発行)

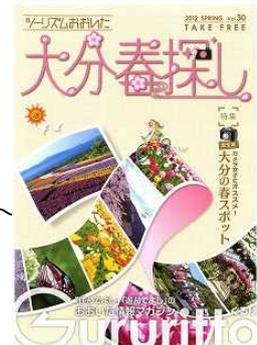
～おおいたの「食」と「紅葉」を求めて～

冬号／「大分湯けむり」(11月発行)

～温泉博士がセレクト！テーマで楽しむふれあいの湯へ

春号／「大分春探し」(2月発行)

～カメラ女子にオススメ！大分の春スポット～



(3) 観光ホームページ管理事業

ホームページの「旬の情報」と「お知らせ」を中心に観光情報発信を行うとともに、季節特集を組み、利用者へ大分県の魅力発信を行った。

夏特集は夏休み期間ということもあり、『夏の体験アルバム』と題し、ジャンル別、市町村別に家族でも友人同士でも楽しめるようなメニューを中心に体験プログラムを紹介した。



秋特集は『大分の城絵巻』と題し、7つの主要な城をメインに取り上げるとともに、サブスポットとして、城に詳しい方向けに7つの山城も紹介した。



冬特集は『ものづくり工場』と題し、近年人気の高い産業観光をテーマとして、県内の工場見学が可能な施設を紹介するとともに、産業施設への意識を高めようと情報発信を行った。

春特集は、大分県観光情報誌「ぐるり」との連動企画として、『カメラ女子旅！動物編』と題し、動物の写真撮影が可能なスポットを紹介した。

(4) マスメディア活用事業

モバイルスタンプラリーや大分県内のイベント・季節情報について、主に新聞への広告掲載を行った。また宇佐市の取材で現地入りしたTBS「はなまるマーケット」への取材協力や、大分空港利用促進期成会と連携し、BSフジ「ウォーキングプラス」による豊後高田市・国東市・杵築市・別府市での撮影に協力。同じくJAL機内誌「スカイワード」大分県特集の取材協力を対象各市の観光主管課及び観光

協会の協力のもと行った。

旅くらぶおおいたではホームページを運営するとともに、毎月メールマガジンを発行し、会員向けに季節の情報や旬の話題を配信した。

また、10月1日・2日に1泊2日の会員向けモニターツアーを実施した。初日は「大分まちあるき観光列車」を利用して久留米から日田、豊後森、由布院で各駅停車し、町並み散策やショッピングを体験。翌日は青の洞門の散策や、豊後・大山ひびきの郷での梅酒づくり体験などを実施した。

また、テレビ、雑誌、新聞といったマスメディアへの売り込み及び取材協力を行い、メディアへの露出の増加を図った。主なものは以下のとおり。

【テレビ】

○フジテレビ系列「サザエさん」オープニング大分県 秋・冬編

放送日：平成23年10月～12月・平成24年1月～3月

○BSフジ「発見！日本の旅ウォーク ～ウォーキングプラス＋」

杵築・別府・国東・豊後高田ロケ

放送日：平成23年10月6日(杵築・別府編)、10月20日(国東・豊後高田編)

○BSフジ「わがまま！気まま！旅気分！」

宇佐・国東・豊後高田・杵築・日出・別府・大分・由布ロケ

放送日：平成24年1月2日(テレビ大分)、1月21日(BSフジ)など

○読売テレビ「ニッポン！おもてなし旅」

別府・由布ロケ

放送日：平成24年1月8日

放送地域：関西地方全域

○テレビ朝日系列「奇跡の地球物語」

別府温泉特集

放送日：平成24年1月29日

【雑誌】

○「男の隠れ家」3月号

取材地域：JR久大本線沿線

○「ミセス」5月号

取材地域：別府・由布・杵築・宇佐

【新聞】

○スポーツ報知「西日本各県の食特集」

掲載日：平成23年12月22日

掲載地域：大分・別府・中津・宇佐

○産経新聞「ゆふいんの森号・特急ソニック特集」

掲載日：平成24年3月23日

掲載地域：大分・別府・由布・玖珠

(5) 大分空港観光情報発信事業

平成21年度から大分空港ターミナルビル内に観光案内所を設置し、空港を利用す

る観光客・来県者に対して観光案内を行った。

3 海外観光客誘致対策事業

(1) 中国・韓国・その他地域誘客対策事業

東日本大震災や福島原子力発電所の事故の影響で激減した観光客を呼び戻すため、マスメディアの招聘や留学生ブロガーの活用などで大分の安全性をPRするとともに、中国、韓国、台湾などアジア圏を中心にエージェントなどに対するセールスを強化した。

特に、富裕層の増加や訪日ビザの大幅な規制緩和により今後の市場拡大が想定される中国においては、大型クルーズ船の県内寄港の定期化に向けた誘致活動を行うとともに、「温泉日本一の大分県」のイメージ定着を図った。

また、国のビジット・ジャパン（VJ）事業や九州観光推進機構及び九州各県とも連携を図り、効果的な誘致活動を実施した。

【中国】

九州観光推進機構や九州各県と連携して新聞・テレビなどのマスメディアやエージェントの招聘、商談会への参加など、情報発信や商品造成への働きかけを行った。

また、8月には大型国際クルーズ船「レジェンド・オブ・ザ・シーズ」が別府国際観光港に4回寄港。国際観光船誘致促進協議会と協力して、ツアー客の歓迎を行った。



【韓国】

福祉、農業などの視察団体やマスメディアによる取材の受入を行うとともに、「韓国国際観光展(KOTFA2011)」の出展や商談会への参加、韓国エージェントへのセールス活動など積極的に誘客活動を行った。

また、今年度から九州観光推進機構と協力して取り組んでいる九州オルレコース造成の第一弾コースの1つに奥豊後コース（豊後大野市朝地～竹田市）が選定され、新たな旅行商品として期待されている。



【その他地域】

タイ、シンガポール、香港、台湾などのマスメディア取材の受入やエージェントの視察対応など、県内観光情報の発信や、団体・FITなどへ向けた誘致活動を行った。

また、8月には熊本県、長崎県と連携して、東京で在京ラウンドを対象とした商談会を開催した。



さらに、11月には香港、台湾、韓国の各エージェントの代表を講師として招請し、「インバウンドセミナーin大分県」を開催したほか、10月、12月及び3月に香港で現地セールスを実施した。

(2) 外国人観光客おもてなし満足度向上事業

今年度、外国人観光客おもてなしアドバイザーとして、韓国人・中国人のスタッフを1名ずつ雇用し、県内の外国人観光客受入に伴う多様な支援を実施した。また、県内の観光拠点における外国人観光客受入状況調査や、海外旅行商品調査を行い、内と外、両側からの基礎的な情報を収集・整理することで受入整備に努めた。

【中国・韓国業務支援】

市町村及び市町観光協会から希望を募り、中国語・韓国語パンフレットの翻訳チェックなど言語面での支援はもとより、その他の中国・韓国インバウンド誘致に向けた取り組みへの協力を幅広く行った。

【海外旅行商品調査】

各国の旅行業界の動向把握・セールスでの活用を目的とし、中国・香港・台湾・韓国・シンガポールのエージェント各十数社を対象に、現地の新聞及びインターネットを利用して旅行商品の調査を行った。

4 ツーリズム推進体制強化事業

(1) 総会の開催

6月10日に平成23年度通常総会を開催し、前年度の事業報告及び収支決算の報告を行うとともに、新年度の事業計画(案)及び収支予算(案)の承認、並びに役員の変更を行った。

(2) 理事会の開催

通常総会時に役員改選に伴う正・副会長選任を目的に、また10月24日・3月22日には定例の理事会を開催した。

(3) 運営会議の開催

公益法人改革に伴う新法人への移行問題を主な議題として、6回開催した。

(4) 運営基盤の確立

新規会員の加入勧誘や独自収入の確保に努めた。

(5) 会員との連携強化

各地域の市町村・観光協会・観光事業者・まちづくり団体など会員との連携強化に努めた。